【規程番号　神女短Ｖ－016】

神戸女子短期大学在学期間延長制度に関する規程

（目的）

第１条　神戸女子短期大学（以下「本学」という。）に、本学学則（以下「学則」という。）第 24 条に定める卒業の要件を満たす者が、引き続き在学することを希望する場合に、卒業を延期し、在学することを認める在学期間延長制度（シニアシステム）（以下「本制度」という。）を設ける。

２　この規程は、本制度に関し必要な事項を定める。

（適用要件）

第２条　本制度の適用は、次に掲げる全ての要件を満たす場合に限り許可することができる。

(1) 本制度の適用を希望する相当な理由があると認められること。

(2) 学則第 24 条に規定する卒業の要件を満たしていること。

(3) 引き続き在学することにより、在学期間が学則第 3 条に規定する年数を超えないこと。

(4) 本来卒業すべき年度の所定の期日までに、学納金を完納していること。

（延長期間）

第３条　前条の要件を満たす者が、本制度の適用を希望するときは、卒業時期を延期し、在学の延長を許可することができる。

２　前項の在学を延長することができる期間は、半年とする。

３　前項にかかわらず、在学の延長を許可された者が、引き続き本制度の適用を希望するときは、再び在学の延長を許可することができる。ただし、在学を延長することができる期間は、通算して１年を超えることができない。

（申請手続）

第４条　本制度の適用を希望する者は、本来卒業すべき年度の所定の期日までに、在学期間延長願（別紙様式１）を提出するものとする。

（審査）

第５条　本制度の適用を希望する者が所属する学科（以下「所属学科」という。）は、前条の申請書類に基づき、適用の可否について審査する。

（許可）

第６条　所属学科の長は、前条の審査結果を教授会に報告しなければならない。

２　学長は、前項の審査結果に基づき、部局長等会議の意見を聴き適用の可否を決定する。ただし、学長は、決定に当たり教授会の意見を聴くことができる。

３　前項により本制度の適用が認められた者であって、所定の期日までに第９条第１項に定める授業料等（授業料及び教育・施設充実費をいう。以下同じ。）を納入した者には、在学期間延長許可書（別紙様式２）を交付する。

（許可の取消）

第７条　本制度の適用が認められた者が事情の変更により、本来卒業すべき学期の終了日の卒業を希望する場合は、所定の期日までに在学期間延長取消願（別紙様式３）を提出した場合に限り、当該終了日での卒業を認めるものとする。

２　本制度の適用が認められた者が、延長期間に係る授業料等を所定の期日までに納入しなかった場合は、本制度の適用を取り消し、本来卒業すべき学期の終了日の卒業とする。

３　前二項の取扱いは、部局長等会議の意見を聴き学長が決定するものとする。ただし、学長は、決定に当たり教授会の意見を聴くことができる。

（授業科目の履修）

第８条　第６条により在学期間の延長を許可された者（以下「在学延長者」という。）は、授業科目を履修することができる。

２　在学延長者は、教育上有益と認められるときは、本学履修規程第５条第２項の規定にかかわらず、既に単位を修得した授業科目を再び履修することができる。

３　前項の再び履修することのできる授業科目は、聴講のみとし、単位の認定は行わない。

（納付金）

第９条　在学延長者の授業料等の額は、所定の金額の３分の１の相当額とする。

２　学外実習を履修する場合は、学則別表第 5 に定める実習費（学外実習費）を、別途納入するものとする。

３　既納の納付金は、原則として返付しない。

（卒業の時期）

第 10 条　在学延長者の卒業の時期は、延長後の在学期間が終了する学期の終わりとする。

（休学の取扱）

第 11 条　在学延長者の休学は認めない。

（規程の改廃）

第 12 条　この規程の改廃は、教務委員会及び部局長等会議の意見を聴き、常任理事会の議を経て理事長が行う。ただし、理事長は、改廃に当たり教授会の意見を聴くことができる。

附　則

この規程は、平成 24 年 10 月 1 日から施行する。

附　則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

（様式１）

在学期間延長願

神戸女子短期大学長
　　○○　○○　様

このたび、下記のとおり在学期間を延長したく、保証人連署の上願い出ます。

記

１．在学延長期間

半年　：　　年　　月　　日　～　　年　　月　　日

２．在学期間延長理由

＊　該当する理由にチェック☑してください。（複数回答可）

☐　就職活動目的

☐　資格取得目的

☐　その他（理由：　　）

年　　月　　日

＿＿＿＿学科＿＿年次＿＿クラス＿＿番（学籍№.　　）

本 人 氏 名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

（様式１）

在学期間延長を希望する理由（具体的に）

延長期間における学修計画（具体的に）

＊以下は記入しないでください。

担 任 所 見
担任氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

（様式２）

在学期間延長許可書

所　　属　　学科　　年次
氏　　名
学籍番号

上記の者の在学期間延長を下記のとおり許可する。

記

在学延長期間

年　　月　　日　～　　年　　月　　日

以上

年　　月　　日

神戸女子短期大学長

○○　　○○公印

（様式３）

在学期間延長取消願

神戸女子短期大学長
　　○○　○○　様

このたび、下記のとおり在学期間延長制度の適用を取消したく、
保証人連署の上願い出ます。

記

取消願出理由（具体的に記入してください。）

年　　月　　日

＿＿＿＿学科＿＿年次＿＿クラス＿＿番（学籍№.　　）

本 人 氏 名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞